

環境可変室を利用した機能性の「見える化評価」のご紹介

遮熱素材や冷感素材、防寒素材など、温度に関わる機能性を訴求する製品が増えています。これらの性能を消費者に分かりやすく示すには、温度変化や温度分布を客観的に可視化する評価が有効です。ボークンでは、環境可変室を用いることで、製品の温冷特性を「見える化」する評価に対応しています。

01 環境可変室のスペック

サイズ：約20m²
温度：0℃～60℃
湿度：30%RH～90%RH

- 8月の室内を想定 → 28℃ × 85%RH
- 冬場の室内を想定 → 10℃ × 30%RH

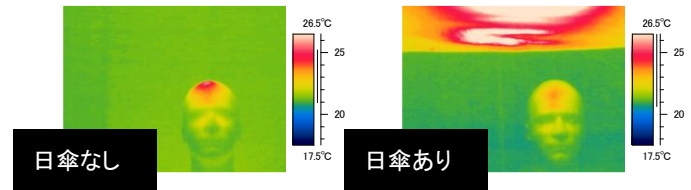
左記以外の環境でも対応できることがあります！
まずはお気軽にご相談ください！



02 活用事例

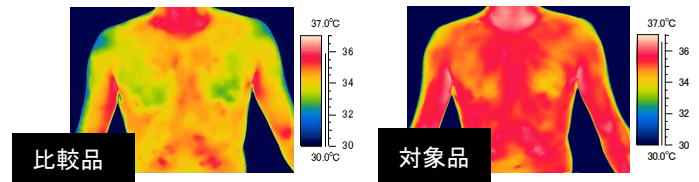
遮熱・断熱性能

衣料品・日傘の遮熱性能を
見える化し、「訴求」に活用！
測定環境： 20℃ × 65%RH



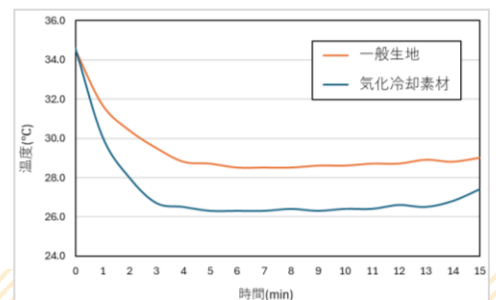
防寒・吸湿発熱性能

防寒具の温度特性を評価し、
表示の根拠として活用！
測定環境： 20℃ × 65%RH



冷却・温度調整機能

測定環境を変化させて
気化冷却素材の実用条件を再現！
測定環境： 35℃ × 30%RH



03 ご依頼の流れ

- ① 事前の打合せ（評価目的の確認、成果物のイメージの共有）
- ② 試験条件の決定、ご提案
- ③ 試験実施・報告書の提出

まずはご相談ください！



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

大阪機能性試験センター

所在地
〒552-0021
大阪府大阪市港区築港1-6-24
TEL 06-6577-0157